



2002年12月3日

報道各位

株式会社 日本総合研究所

「グループ共通ネットワークサービス」開始のお知らせ

～三井住友フィナンシャルグループ約30社を対象に～

株式会社 日本総合研究所（本社：東京都千代田区、社長 奥山 俊一 以下 日本総研）は、2002年12月の三井住友フィナンシャルグループ設立を機に、グループ約30社を対象とした、共有ネットワーク基盤サービス「グループ共通ネットワークサービス」（サービス名：エクストラネット）を開始します。

1. サービス提供開始の経緯

日本総研では、従来から三井住友銀行グループ会社の一部に対し、メール交換を中心とした共有のネットワーク基盤サービスを展開していましたが、三井住友フィナンシャルグループの発足に伴い、これらのサービスを大幅に強化拡充します。

グループ共通のネットワーク基盤を構築することにより、金融サービスに相応しい強固なセキュリティ・安全性の実現と、共同化に伴う経済性を両立させることが可能となります。

2. サービスの内容

具体的なサービス内容は以下の通りです。

- （１）従来から提供していた、グループ各社間のメール交換等に加えて、
- （２）ウェブシステムをベースとした共通のアプリケーションの開発、及び、データ共有・交換を可能にすることにより、本機能を利用した「グループ内シェアードサービス」を可能とします。
- （３）また同サービスではインターネット接続サービスも提供し、グループ共通のＥビジネス基盤としても活用を図ります。

3. サービスの提供方法

まず始めに、来年2月に、グループ各社向けに共通の各種業務アプリケーション（電子通達、規程集、電子掲示板、人事異動計報情報、電子電話帳など）提供サービス、グループ内（閉域）メール交換サービス、インターネット接続サービスの提供を開始します。

その後、順次、グループ共通のサービスを本ネットワーク上に集約し、三井住友フィナンシャルグループ各社間の業務効率化を図るとともに、本ネットワークを通じて、業界トップクラスのグループ各社の金融機能を統合する新しい金融サービスを提供し、競争力強化を狙います。

４．サービスの特徴

本サービスの実現にあたり、グループの中核のＳＩｅｒである日本総研の豊富なノウハウに加えて、グループ会社間の接続につき、**株式会社 ＮＴＴデータ**（本社：東京都江東区、社長 青木 利晴）が提供する「ＤＢＮサービス（ＮＴＴデータ・マルチ・ビジネス・ネットワーク）」を利用することにより、グループ内をセキュアな仮想ＩＰネットワーク網で結び、グループ内における情報交換の機密性を向上させます。

また、同サービスの認証基盤システム構築を、**株式会社 ソリトンシステムズ**（本社：東京都新宿区、社長 鎌田 信夫）と共同で行い、各情報毎に会社別・職位別・個人別等のアクセス制御を行うことにより、ウェブシステムによる利便性を担保しながら堅牢なセキュリティレベルを確保する、グループ企業全体での統合認証システムを実現しました。

今後、三社は三井住友フィナンシャルグループでの実績をもとに、ウェブシステムをベースとする情報共有サービス事業及びセキュリティ事業を共同展開する体制を整えます。

日本総研の情報共有に関わるコンテンツ構築ノウハウと、ＮＴＴデータ社のネットワーク、ソリトンシステムズのインターネットにおける認証技術を組み合わせたソリューションにより、国内の企業グループに対しエクストラネットサービスの展開を図ります。

以上

本文中記載の「ＤＢＮサービス」は株式会社 ＮＴＴデータの登録商標です。

本件問い合わせ先

金融ソリューション事業本部 菊地・佐々木

TEL：03-3237-6440 E-Mail：kikuchi@fsd.jri.co.jp

TEL：03-5431-7816 E-Mail：sasaki@fsd.jri.co.jp

金融営業部 高田

TEL：03-5431-6582 E-Mail：takata-a@fsd.jri.co.jp

広報部 佐藤

TEL：03-3288-5360 E-Mail：sato.yoshihito@jri.co.jp

概要図

